人と自然が育む、循環型の未来へ

大久野通信 vol.38

晩秋の里山

里山活動には心地よい季節となりました。
自然の造形に手を加えて機能的にすることを、ランドスケープマネジメントと呼ぶそうです。これから農閑期と言われる長い冬は、沢周辺の整備や竹林整備、山道整備など、里山のランドスケープマネジメントが繁忙期となります。
この季節にかいた汗が、快適な夏には欠かせないのです。

INDEX

01 新たな出会い
02 東京都に熊が出た！
03 今後の展望

01 新たな出会い

国立環境研究所　西廣先生主催のイベント「流域フィールドスタディツアー＠印旛沼流域」に参加しました。携わると魅力的な里山整備ですが、企業の事業とどの様に結び付けたらよいのか悩んでおりました。ツアーには産官学様々な方が参加されており、意見交換などで新たな視点や価値観に触れることが出来ました。また、昨今の自然災害は自然の成り立ちを深く知った上で対策を施す必要があることも学びました。人が快適に暮らせる環境を考えることも、企業が取り組むべき課題なのだと感じました。



集合写真



竹炭製造のデモ

02 東京都に熊が出た！

西多摩郡日の出町大久野は東京都です。
ここ数年「東京都に熊が出た」と報道されており、この地域はよく登場します。西側に奥多摩から連なる1,000m前後の山岳地帯があり、ツキノワグマは様々な事情で人間の生息域に出没する様になりました。活動拠点の柿の木も、熊の痕跡が確認されたため伐採することに。
里山を彩る秋の風情がまた一つ姿を消してしまいました。



秋空に映える柿



熊の爪痕

03 今後の展望

北総クルベジ・ファーマーズ喜屋武会長のご紹介で、「ちばユニバーサル農業フェスタ2026 in四街道」に参加しました。このイベントは、農業や食に関する文化を守ることを目的としています。農業者をはじめ様々な方々が出会い繋がる場となっていました。
大久野倶楽部は、「地球を救う」をテーマに竹炭と有機肥料を入れた培養土「鈴木さんの培養土」を展示し、ご好評をいただき様々な方々と繋がることができました。このスターターキットは、四街道市のみなさんに来年の春無償配布する予定ですが、10月末時点で20名ほど応募が来ているとのこと。
一方、北総クルベジ・ファーマーズの喜屋武会長には、RBSゴールドの拡販を含めた取組みにも協力して頂くことになりました。熊本で製造するRBSゴールドは、これまで地元以外に販売網が有りませんでした。果たして本州デビューとなるのか、いろいろと挑戦する覚悟の大久野倶楽部です。